

令和 4(2022)年度 事業計画書

目 次

I. 基本的な考え方

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1. 社会経済情勢 | 2 頁 |
| 2. 本商工会議所の状況 | 3 頁 |
| 3. 令和 4(2022)年度の取り組み | 4 頁 |
| (1)企業力を強化する ～企業を育て持続的な発展を目指す～ | |
| (2)地域力を強化する ～地域特性を活かし産業基盤を支える～ | |
| (3)組織力を強化する ～組織体制を強化し会員満足度を高める～ | |
| (4)西宮商工会議所創立 80 周年記念事業の実施 | |

II. 主要施策、事業の概要

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. 企業力を強化する ～企業を育て持続的な発展を目指す～ | 7 頁 |
| (1)中小・小規模事業者の支援 | |
| (2)にしのみや起業家支援センターを核とした起業・創業の支援 | |
| (3)雇用対策・人材育成の支援 | |
| (4)販路開拓の支援 | |
| (5)持続可能な社会の実現 | |
| 2. 地域力を強化する ～地域特性を活かし産業基盤を支える～ | 9 頁 |
| (1)地域資源のブランド化 | |
| (2)商店街・まちなか活性化の推進 | |
| (3)にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援 | |
| 3. 組織力を強化する ～組織体制を強化し会員満足度を高める～ | 10 頁 |
| (1)新規会員の獲得と定着 | |
| (2)組織財政基盤の強化 | |
| (3)会議所の DX 推進と情報発信の強化 | |
| (4)要望・提言活動の推進 | |
| (5)関連団体事務の受託 | |
| 4. 西宮商工会議所創立 80 周年記念事業の実施 | 11 頁 |

I. 基本的な考え方

1. 社会経済情勢

わが国の経済は、令和3年10月以降、新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ感染症」という。)第5波の収束後、個人消費はサービス消費を中心に持ち直し、企業収益や業況感は全体として改善を続ける動きがみられた。しかしながら、令和4年1月にはオミクロン株の拡大による第6波が到来し、全国的にまん延防止等重点措置が適用されたため、個人消費の落ち込みは避けられない状況となった。またウクライナ情勢の変化、エネルギーや原材料価格の高騰による景気の下振れリスクがあり依然として先行き不透明感は拭えない。

一方、地域経済や企業は、政府の財政・金融政策の危機対応に支えられた回復から、自助努力による自律的な回復へと移行することが期待される。コロナ感染症への強力な武器となる3回目のワクチン接種や治療薬の開発も進んでいることから、変異株の特徴を見極めながら感染対策の徹底と社会経済活動を両立することが求められる。

また、政府が経済成長の起爆剤と位置づけ、日本を含む120か国以上が宣言している「2050年カーボンニュートラル」に向けた動きが一層加速し、3年6月に改訂された「グリーン成長戦略」では2050年の温暖化ガス排出量の実質ゼロに向け、再生可能エネルギーや水素など14分野の技術革新の工程が示された。3年度の税制改正では、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)実現に必要なデジタル関連投資に対する優遇税制「DX投資促進税制」が創設され、企業のDX推進を後押ししている。企業のESG投資(環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance))要素を考慮した投資やエシカル(倫理的)消費、SDGs(持続可能な開発目標)への積極的な取り組み姿勢が若年層から支持を得て、消費や就職活動といった具体的な行動につながる好循環も見て取れるようになった。こういったウィズコロナ・アフターコロナ社会への対応や中長期的な視点に立った経営が求められており、このことを新たなビジネスチャンスと捉え、新たな経営戦略・事業戦略を再構築することが重要となる。

中小・小規模事業者(以下、「中小企業等」という。)は、コロナ感染症の影響に加え、半導体などの原材料の供給不足やコスト上昇、人手不足、政府や労働団体による賃上げ要請など足元の懸案材料がある一方、消費者物価が上がっていないため価格転嫁できず、これらが今後の業績に大きな影響を与える可能性がある。またコロナ感染症発生以降、中小企業等でデジタル化の遅れが露呈したが、大手企業と比べてテレワーク導入やIoT・AI・RPA等の導入は遅れている。

こうしたことを踏まえ、コロナ感染症の影響を乗り越えるため、会議所が中核となり中小企業等の伴走型支援に加え、DXやSDGs推進などの中長期的な支援を実施することで、中小企業等の持続的な成長を促し地域経済の好循環を拡大しなければならない。また会議所自身も新たな時代の到来を見据え、創立80周年を機に未来に拓かれた会議所への変革に向けて取り組みを進める。

2. 本商工会議所の状況

本会議所においては、令和2年1月29日に「新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口(以下、「相談窓口」という。)」を設置して以降、3年度も資金繰りや雇用維持、経営全般といった数多くの相談に対応してきた。また3年度には3回目となる「新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケート」に加え、業種別に設置している10の部会での役員会を実施し、多くの中小企業等の要望をとりまとめ、これらの結果を国・県・市へ届けるとともに、会議所の事業活動に反映させた。

こうした中、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受けた中小企業等に対する支援として、3年3月から一時支援金、6月から月次支援金の申請が開始され、会議所は登録確認機関として制度説明や事前確認を行い、453件の中小企業等の申請支援を行った。また小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金の事業計画策定を加えると700件を超える支援となり、コロナ感染症により厳しい状況にある多くの中小企業等を支援してきた。これらの取り組みが評価され、平成14年以降となる3,000会員を回復することができた。本年度も引き続き、相談窓口をはじめ経営支援体制を一層強化し、懸命な経営努力を続けている中小企業等を会議所が一丸となって支援していく。

会議所は、創立80周年を迎える4年度を80周年記念イヤーと位置づけ、商工会館の建設をはじめとする記念事業を着実に実施することにより、新たな会議所活動の出発点とする。会議所の新たな活動拠点としてその役割を担う新しい西宮商工会館については、会議所の役議員や会員事業所から多大な協力をいただき、また県や市の理解と支援のもと、会議所創立80周年を迎える4年3月に完成する。新しい商工会館では、起業家をワンストップで支援する拠点として「にしのみや起業家支援センター」を整備し、女性・若者・高齢者を中心とする起業家を育成するとともに、起業家の持続的な成長を後押しするため情報発信機能を活用したプロデュース支援を行う。また地域の経済活動の拠点として「にしのみや地域経済交流センター」を整備し、にしのみや地域マルシェにより西宮の逸品を広くPRするほか、地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の活動を支援するなど「地域とともにある」会議所を具現化する。さらに、DXやSDGsの取り組みを会議所や地域の中長期的な課題として捉え、会議所が主催する会議のペーパーレス化や情報発信のデジタル化などを進める。

このような中、会議所もウィズコロナ・アフターコロナ社会への変化に対応しながら、意欲ある事業所の挑戦を後押しするとともに、会員事業所をはじめ、地域社会や多様なステークホルダーから信頼される強い組織を目指していかなければならない。このため会議所自身の「意識改革・体質改善」を図り、経営指導員が地域の特性や中小企業等の具体的・個別的な課題をより把握し積極的に課題解決に取り組むとともに、役議員と一丸となって「西宮の企業を育て産業の未来を拓く」会議所を目指す。

3. 令和4(2022)年度の取り組み

令和4年度は、会議所創立80周年を迎えると同時に、第28期(令和元年11月～4年10月)から第29期(令和4年11月～7年10月)へと引き継ぐ年となる。創立70周年に掲げ、創立75周年で「ことづくり」を追加した会議所のスローガン「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり」を踏まえ、会議所は4年目を迎える第2次中期行動計画で定めた3つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化を実現するため積極果敢に挑戦する。

特に、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた支援に加え、会議所創立80周年記念事業を実施するほか、「Challenge 80」として冠に掲げる「起業家80名の創出」「健康経営優良法人80社の認定」「地域の逸品80品目の紹介」の3項目について重点的に取り組み、「西宮の企業を育て産業の未来を拓く」会議所として内外へ広くアピールする。

(1) 企業力を強化する ～企業を育て持続的な発展を目指す～

本年度は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組みを中心に、コロナ感染症に立ち向かう中小企業等との一層の信頼関係を大切にしながら、伴走型支援を中心した中小企業等の支援、起業家の発掘・育成、雇用対策・人材育成、販路開拓について重点的に取り組む。

中小企業等の支援については、これまでの取り組みの柱である経営改善普及事業による基礎的な経営支援及び2期目となる経営発達支援計画に基づく経営戦略にまで踏み込んだ伴走型支援に中小企業相談所が一丸となり取り組む。このことにより、インボイス制度・電子帳簿保存法の備えなど足元の取り組みから、生産性向上、働き方改革、デジタル化やDX推進、グリーン社会の実現に向けた中長期的な取り組みまで、中小企業等が抱える多くの経営課題に対し適切に解決を図る。

また国・県・市等の各種支援施策の活用を推進するため、会議所所報やホームページによるタイムリーな情報提供に加え、各種制度の集合説明会や個別申請支援を実施するなど希望する全ての中小企業等が各種制度を利用できるようきめ細かな支援に努める。さらに1期目の事業継続力強化支援計画に基づき、自然災害や感染症発生時の緊急時に事業の継続・早期復旧を図るBCP(事業継続計画)策定を支援するほか、2年度から実施している北部地域における出張形式の経営相談会について、北部地域の全ての中小企業等に案内し利用の促進を図る。

にしのみや起業家支援センターを核とした起業・創業の支援については、新しい商工会館をアピールする取り組みとして、「Challenge 80」で掲げた起業家80名の創出を目指す。この目標を達成するため、3年度実施したモデル事業の成果を踏まえ策定した同センター運営計画に基づき、市や関連機関、市内大学などと連携しながら着実に取り組みを進める。同センターでは、女性を中心に数多くの起業候補者が集う場を提供するほか、ワンストップで切れ目のない支援により起業家を育成し、起業家の成功を後押しするため情報発信機能を活用したプロデュース支援を行う。

また後継者問題を抱える中小企業等の円滑な事業引き継ぎや事業承継を促進するため、兵庫県事業引継ぎ支援センターとの連携強化をはじめ、後継者育成塾や関連セミナーを継続して実施するとともに、起業家への事業引き継ぎや M&A による事業譲渡を支援する。

雇用対策・人材育成の支援については、新入社員研修をはじめ職務別や階層別、課題別の人材育成研修に加え、講師派遣型のオーダーメイド研修の充実を図り、中小企業等の生産性向上を人材育成面から支援する。また健康経営を促進するため、「Challenge 80」で掲げた市内事業者 80 社の健康経営優良法人認定を目指す。

販路開拓の支援については、市内製造業を中心に中小企業等が開発した新製品・新技術等の全国展開を支援するため大規模展示会・メッセナゴヤ 2022 への共同出展を行い、市内産業を広く PR することで数多くのビジネスマッチングや業務提携の成立を目指す。

(2) 地域力を強化する ～地域特性を活かし産業基盤を支える～

西宮が誇る豊富な地域資源(自然環境、風土、歴史、文化など)を産業活動に活用するとともに、酒造業をはじめ、多くの飲食料品関連産業が集積する「食のまち」としての特色を活かし、日本酒をはじめ食分野における観光資源を「西宮ブランド」として育成・発信するなど地域産業の活性化を継続して支援する。

地域資源のブランド化については、日本酒の主要な振興策として阪神・淡路大震災からの復興を願い平成 9 年より始めた「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」が確実に実施できるよう、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた開催方法などについて関係者間で協議・検討する。また、事業者・市・観光協会と連携を図りながら、「とおかし」や「西宮洋菓子園遊会」により地域の和菓子・洋菓子のブランド力を高め、新たに発掘したコーヒーやギフト商品を西宮の逸品として育成・発信する。さらに西宮ブランドの魅力をさらに高める「まちなか観光」の推進を図る。

本年度より会議所が西宮市商店市場連盟の事務を受託するため、同連盟との連携を深め、商店街やまちなかの一層の活性化を図る。新しい賑わいづくりの手法として、3 年度に取り組んだ AR(拡張現実)機能を活用した商店街の PR 支援を検証し、効果的な取り組みとして横展開するなど、時代に即した各商店街の魅力発信を推進する。

にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援については、「にしのみや地域マルシェ」を定期的に同センターにて実施し「Challenge 80」で掲げた西宮の逸品 80 品目を広く PR するほか、地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の意見を踏まえ、「地域とともにある」会議所を体現する。

(3) 組織力を強化する ～組織体制を強化し会員満足度を高める～

会議所は地域で唯一の総合経済団体として多くの事業者からの信頼を得られる存在でなければ

ならない。そのためには経営指導員などによる会員事業所への接触や巡回指導を年1回以上実施し、会議所と会員事業所の間で顔の見える関係づくりに取り組むことが不可欠である。またオンライン経営相談などデジタル化への対応を図りながら会員ニーズの的確な把握に努めるとともに、幅広い会員サービスをアピールすることにより新規会員の獲得や会員の定着、退会の防止、未収会費の縮減を図る。

このことを組織一丸となり推進するため、会員増強検討会議において、会議所事務局と役員が共に効果的な取り組みを検討し、検討の結果をとりまとめたうえで、総会員数の純増、会員満足度の向上を目指す。特に3年度、国・県・市等の各種支援施策の活用支援により3,000会員を回復したが、これを維持するため退会を防ぐ方策を図る。

また会議所自身もDXを推進し、サービスの高度化や業務の効率化を図る「スマートCCI(商工会議所)」への転換に取り組む。会議所が主催する会議等のペーパーレス化を図るとともに、従来の所報とFAX送信に加え、新たにメールマガジンの配信によりタイムリーに有益な情報を発信できる体制を整える。

会議所の基礎的な活動である部会、委員会においては、可能な限りリアルでのセミナーや先進事例を有する施設見学会の実施、会議所役員との意見交換や会員間の交流の場を提供し、会員メリットが感じられる取り組みを行う。

要望・提言活動の推進については、4回目となる新型コロナウイルス感染症に関する緊急アンケートを実施し市内事業者の現状を把握するとともに、国・県・市政に事業者の声を届け要望の実現に向け取り組む。また3年度発足した物品調達等受注機会拡大連絡会を通じ、市内事業者の公共調達が拡大するよう取り組む。

このほか、国・県・市の補助金など特定財源や共済事業収入など自主財源に加え、ネット検定施行により収入が大きく落ち込んだ検定事業の実施手法を見直すなど新たな財源の確保についても検討を進め、また組織財政基盤の強化を図る。

(4)西宮商工会議所創立80周年記念事業の実施

昭和17年に創設された会議所は令和4年に創立80年と新しい商工会館の完成という節目の年を迎える。このため、4年度を創立80周年記念イヤーと位置づけ、新しい商工会館の建設をはじめとする創立80周年の記念事業を着実に実施することにより、新たな会議所活動の出発点とする。

新しい商工会館の建設は、平成27年に実施した耐震診断の結果を出発点として、3つの特別委員会により検討を重ね、正副会頭会議、常議員会、議員総会において適宜報告、説明を行いながら3年3月に解体工事、8月に建築工事に着手し、この間足掛け8年の歳月を要したが、4年3月に完成する。

にしのみや起業家支援センターやにしのみや地域経済交流センター等の機能を有する新しい商

工会館の完成を記念し、会議所役員や工事関係者、来賓を招き、竣工式を新しい商工会館にて実施する。併せて旧商工会館の記憶を継承するため、日本現代建築に多大な功績を残した建築家である村野藤吾氏が設計代表を務めた旧商工会館の竣工当時の姿を復元模型として製作し公開する。

また会議所の創立 80 周年を記念して、会議所役員や会員を招き記念式典を実施し、会議所の過去から現在までの歩みや未来に向けた取り組みをまとめた記念誌を配布し記念映像を披露する。

さらに「酒ぐらルネサンスと食フェア」や 30 回を迎える「くすの木コンサート」等の会議所の主要事業や、起業・創業支援の一つであり新たに取り組む「ビジネスプランコンテスト&交流会」に「創立 80 周年記念事業」の冠を付すとともに、4 年度から始める会議所の 3 つのチャレンジを「Challenge 80」として定め、「起業家 80 名の創出」「健康経営優良法人 80 社の認定」「地域の逸品 80 品目の紹介」について重点的に取り組む。

II. 主要施策、事業の概要

注記 【新】：新規事業、【拡】：拡充事業

1. 企業力を強化する ～企業を育て持続的な発展を目指す～

(1) 中小・小規模事業者の支援

① 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者への支援

- ・ 新型コロナウイルスに関する経営相談窓口(令和 2 年 1 月 29 日設置)による経営支援体制の継続実施(資金繰り、雇用の維持、各種経営相談等)
- ・ アンケート調査等による事業者の要望集約と、国・県・市等への要望・提言活動の実施
- ・ 国・県・市等の支援施策の情報発信や活用推進、各種補助金等の個別相談会の実施

② 経営改善普及事業による小規模事業者の活力強化

- ・ 巡回訪問などによる経営指導や情報提供の徹底、オンライン経営相談の実施
- ・ 様々な経営課題を解決するための専門家派遣、個別相談会の実施
- ・ 北部地域における出張経営相談室の開設
- ・ マル経融資(小規模事業者経営改善資金)及び各種制度融資の利用促進
- ・ 兵庫県よろず支援拠点西宮サテライト設置による相談機能の強化

③ 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく経営発達支援計画(2 期目)の推進

- ・ 小規模事業者の経営状況の分析、事業計画策定、策定後の支援など、伴走型経営支援の推進
- ・ 経営発達支援計画評価委員会による本計画の検証・評価

④ 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく事業継続力強化支援計画(1 期目)の推進

- ・ 中小企業強靱化法に基づく認定制度である「事業継続力強化計画(BCP)」の策定支援

⑤ 中小・小規模事業者が抱える経営課題への対応

- ・ 経営革新等認定支援機関としての支援(ミラサポ、経営力向上計画策定など)
- ・ 小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金など国・県・市等各種補助金の活用支援
- ・ 中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の策定支援
- ・ 【新】インボイス制度・電子帳簿保存法への対応支援
- ・ 【拡】中小・小規模事業者のIT化・デジタル化の支援、DXの推進
- ・ 生産性向上や優秀な人材確保のための働き方改革支援
- ・ 【Challenge 80】健康経営優良法人認定80社の取得支援
- ・ 【拡】SDGsの取り組み支援
- ・ 日本政策金融公庫や地域金融機関との連携強化による金融支援
- ・ 市内大学との産学連携の推進による新商品やサービスの開発支援

(2) 【新】にしのみや起業家支援センターを核とした起業・創業の支援

① にしのみや起業家支援センターの運営

- ・ 【会議所創立80周年記念事業】ビジネスプランコンテスト&交流会の実施
- ・ 【Challenge 80】起業家80名の創出
- ・ 起業関連セミナー、交流会、起業家プロモーション支援等の実施
- ・ コワーキングスペースや情報発信ルーム等の提供

② 事業承継の支援

- ・ 事業承継セミナーや後継者育成塾の実施
- ・ 兵庫県事業継続支援事業の活用支援
- ・ 兵庫県事業引継ぎセンターとの連携による市内事業者の支援

(3) 雇用対策・人材育成の支援

① 雇用対策・人材育成の支援

- ・ 【新】誰もがやりがいを持って活躍するための職場活性化の支援
- ・ 職場改善のためのオーダーメイド型(講師派遣型)研修の実施
- ・ 西宮市大学交流センターや市内大学キャリアセンターにおける市内企業PRコーナーの設置

② 西宮地区雇用対策協議会との連携事業

- ・ 【新】外部人材教育企業の割引サービスの提供
- ・ 新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、就業規則セミナーなどの実施
- ・ 各種人材育成研修(階層別、職種別、テーマ別)の実施

③ 兵庫働き方改革推進支援センターとの連携

- ・ 労務個別相談会の実施

(4) 販路開拓の支援

- ① 【会議所創立 80 周年記念事業】大規模展示会・メッセナゴヤ 2022 への共同出展
- ② 大規模商業施設を活用したギフト商品等の販路拡大イベントの実施
- ③ 阪神間 4 商工会議所会員大交流会(主幹：宝塚商工会議所)の実施
- ④ SNS や各種メディアの活用による販路拡大を目指す IT 活用セミナーの実施
- ⑤ 事業者間のマッチング支援
 - ・ ザ・ビジネスモールの活用推進

(5) 持続可能な社会の実現

- ① SDGs(持続可能な開発目標)の推進
- ② 所報を活用した SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む事業所の PR

2. 地域力を強化する ～地域特性を活かし産業基盤を支える～

(1) 地域資源のブランド化

- ① 日本酒の振興
 - ・ 【会議所創立 80 周年記念事業】第 26 回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアの実施
 - ・ 西宮日本酒学校の実施
 - ・ 西宮蔵開の支援
- ② 西宮洋菓子園遊会のあり方検討
- ③ 西宮洋菓子研究会の自主的な運営を支援
- ④ 和菓子の地域ブランド「とおかし」の支援
- ⑤ にしのみやコーヒーの扉プロジェクトの支援
- ⑥ 西宮市・西宮観光協会と連携した「まちなか観光」の推進
- ⑦ 【新】習い事&学習塾等のマーケティング力強化の支援

(2) 商店街・まちなか活性化の推進

- ① 【拡】西宮市商店市場連盟を中心とした商店街等の支援
 - ・ AR(拡張現実)機能を活用した商店街の PR 支援
- ② 兵庫県・地域の魅力発信集客イベント支援事業の活用支援
- ③ 兵庫県・西宮市の商店街新規出店・開業等支援事業補助金の活用支援

(3) 【新】にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援

- ① 【Challenge 80】 マルシェ等の実施による西宮の逸品 80 品目の販路開拓支援
- ② 地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の活動支援

3. 組織力を強化する ～組織体制を強化し会員満足度を高める～

(1)新規会員の獲得と定着

- ① 会員増強検討会議による組織一丸となった会員増強の推進
 - ・ 新規会員の獲得と会員の定着、退会防止に係る方策の検討
 - ・ 3,000 会員の維持
- ② 全会員への巡回訪問による会員満足度の向上

(2)組織財政基盤の強化

- ① 正副会頭会議、議員総会、常議員会、議員懇談会、議員クラブ活動等の実施
- ② 会議所共済制度の推進による会員事業所の福利厚生の実施
- ③ 商工会議所検定(日本商工会議所、東京商工会議所)の普及・推進、ネット検定への対応
- ④ 珠算検定(日本珠算連盟)の普及・推進、競技大会の実施
- ⑤ 会議所パソコン教室の運営
- ⑥ 職員の資質及びモラルの向上
- ⑦ 部会・委員会活動の活性化、青年部・女性会活動の支援

(3)会議所の DX 推進と情報発信の強化

- ① 【新】 会議所の DX 推進
 - ・ 会議等でのペーパーレス化の推進
 - ・ 貿易関連証明のオンライン発給の導入
- ② 会議所活動の情報発信
 - ・ 所報「れぼると」のデザイン刷新及び内容充実
 - ・ リニューアルした会議所ホームページ、各種 SNS 等を活用した情報発信の強化
 - ・ 【新】 メールマガジンの活用
- ③ 会員サービス事業の推進
 - ・ 労働保険事務の代行
 - ・ 貿易関連証明の発給(オンライン発給を導入)
 - ・ 小規模企業共済及び経営セーフティ共済(中小機構)の事務委託
 - ・ 容器包装リサイクル法に基づく再商品化委託
 - ・ 健康診断、PET/CT 検診の受診料割引サービス、ひょうご DC プラン

④ 賀詞交歓会の実施

⑤ 「市民に拓かれた商工会議所」の推進

- ・ 【会議所創立 80 周年記念事業】第 30 回くすの木コンサート
- ・ 社会貢献活動、国際交流活動の推進

(4) 要望・提言活動の推進

- ① 各部会・委員会活動、巡回などを通じての会員意見の集約
- ② 国・兵庫県・西宮市などへの政策要望・意見の具申
- ③ 兵庫県・西宮市幹部と正副会頭との懇談会の実施
- ④ 日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会など関係機関との連携

(5) 関連団体事務の受託

- ① 西宮貿易協会
- ② 西宮地区雇用対策協議会
- ③ 西宮珠算振興会
- ④ 西宮興親会
- ⑤ 【新】西宮市商店市場連盟
- ⑥ 西宮市商業近代化協会
- ⑦ 一般財団法人西宮更生保護協会
- ⑧ 環境再生保全機構(徴収業務受託団体)
- ⑨ 日本容器包装リサイクル協会

4. 西宮商工会議所創立 80 周年記念事業の実施

(1) 西宮商工会館の建設及び竣工式の実施

- ① 西宮商工会館の建設
- ② 竣工式の実施
- ③ 旧商工会館復元模型の作製

(2) 創立 80 周年記念式典の実施

- ① 創立 80 周年記念式典の実施
- ② 創立 80 周年記念誌及び記念映像の作成

(3) 「Challenge 80」の実施

- ① 起業家 80 名の創出
- ② 地域が誇る逸品 80 品目の紹介

- ③ 健康経営優良法人認定 80 社の取得支援
- (4) 創立 80 周年記念冠事業の実施
 - ① 第 30 回くすの木コンサート
 - ② 第 26 回酒ぐらルネサンスと食フェア
 - ③ 大規模展示会・メッセナゴヤ 2022 への共同出展
 - ④ ビジネスプランコンテスト&交流会の実施

以上